

叶、作もよく出来、とり実も多くこれある

ものに候、何ほど親に孝行のころありとも、

手前ふべんにてはなりがたく候間、なる程

身持ちをよく仕るべく候、身上ならず候えば、貧苦

の煩も出来、心もひがみ、または盗をも仕り、

公儀御法度をも背き、しほりからめられ、牢

入又は死罪・磔などにかかり候時は、親の身に

★死罪（しざい）七種の死刑の一つ、斬首のあと死骸は試し斬りされる）

磔（はりつけ）柱に罪人を縛り付け槍などで突き刺す刑）

なりては、何ほどかなしくこれあるべく候、其上

妻子・兄弟・一門の者にも嘆をかけ、恥をさらし

候間、能々身持をいたし、ふべん仕らざるように

毎日毎夜こころがけ申すべき事、

右のごとくに、ものごと念入、身持ちをかせぎ

申すべく候、身上よくなり米・金・雑穀をも

持ち候はば、家をも能つくり、衣類食物以下に